

令和5年度 五木村立五木中学校 グランドデザイン

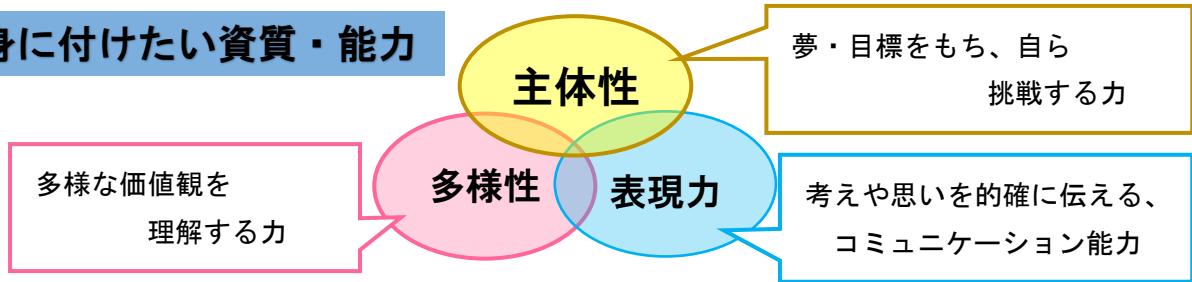
小・中学校教育目標 ふるさとを愛し 豊かな心と 確かな学力をもった たくましい五木っ子の育成
～主体的に学び・考動し、よりよいコミュニケーションを図る五中生～

目指す生徒像：相手を理解し、自分の考えを伝えることができる生徒

【共通実践事項】

- ◇相手を理解する : 対象とする課題や問題・状況・心情を理解する場の設定
- ◇自分の考えを伝える : 自分が考えたことを、相手に応じて的確に表現する場の設定

身に付けたい資質・能力



身に付けるための手立て

国語 ・主題に迫るために言語活動を通して意見を共有させる。 ・多面的な読解を基にして表現力を伸ばす。	社会 資料の読み取りを基に、社会事象を多面的・多角的にとらえ、根拠に基づき表現する学習活動を工夫する。	数学 ・既習事項を踏まえて問題を読み解き、自他の考えを比較しながら、より良い解答を生み出す力を伸ばす。 ・答えまでの過程を論理的に説明する力を育成する。	理科 観察・実験から分かったことや考えたことを、言葉やレポートでまとめる活動を通して、他人に分かりやすく伝える力を身に付けさせる。	音楽 ・曲のイメージについて、共通事項を用いながら、互いに伝え合う力を身に付けさせる。 ・様々な音楽にふれさせることで多様性について考えさせていく。
美術 ・感性や想像力を働かせ個別の感じ方や考え方への理解を深めさせる。 ・思いがより伝わるよう表現方法を工夫させる。	保体 他者や手本の様子を参考にしながら自分の動きを振り返る活動を通して気づきやポイントを全体で共有させる。	技・家 自分の生活課題について多角的にとらえ、考えを発表し合い、他者からの意見を踏まえて改善策を検討させる。	外国語 聞く・読むなどの言語活動を通して、英語を理解し、自分の考えや思いを英語で表現させる。	道徳 友達の思いや多様な考え方を尊重しながら、自己を見つめ、自分の思いを伝え合う力を向上させる。

総合的な学習の時間

体験学習を通して、各教科等で、習得した知識や技能、概念を実生活の課題解決に活用する。

- 1年：ふるさと体験学習 「五木村の誇り」～ふるさと発見～
- 2年：職場体験学習 「五木村で輝く人」～様々な人との関わり～
- 3年：福祉体験学習 「私と五木村の未来を考える」～いま私たちにできること～

体験学習 知の総合化
教科横断的な学習
カリキュラム・マネジメント
キャリアパスポート
情報活用能力
遠隔授業システム活用

主権者教育・NIE

読解力・表現力の向上を目指す。

学習内容：租税を通じた五木村の暮らし
学習方法：新聞記事の視写・要約
・スクラップブック作成等

各種検定

読解力・表現力の基礎となる語彙力の向上を目指す。

英語検定・漢字検定等の取組
パワーアップトレーニングの時間の充実

家庭学習

目標に向かって見通しをもち計画的に学習を進める力を身につける。

個に応じた学習内容・学習方法等の支援の充実（目安時間60分～120分、SノートやタブレットPCの活用等）

●学校教育経営の基盤（人権尊重の精神）

●地域連携（PTA・保小中高連携・地域活動への参加等）

親子美化作業・保小中高合同大運動会・朝の挨拶運動・村内祭りへの参加・ボランティア地域貢献清掃活動・小中合同研修・五木村学校運営協議会との連携等